

北九州市福祉のまちづくりネットワーク

目的

北九州市福祉のまちづくりネットワーク(まちネット)は、障害当事者団体や福祉従事者、ボランティアグループ、設計の専門家等で構成され、誰もが住みよいまちづくりのために、現地調査や学習・検討、関係行政や企業との意見交換会などを行っています。

また、いろいろな立場の人が話し合うことで、障害による意見の違いを確認し、お互いを理解し合いながら活動しています。

主な活動

公共性の高い施設(駅、店舗、公園など)のバリアフリー化工事についての相談や意見提出、および竣工後のバリアフリーチェック

歩道の点字ブロック敷設や音響信号設置についての協議

バリアフリーな施設・店舗情報の収集、見学会や勉強会の実施

まちづくりマニュアルの作成に向けた情報収集

世話人団体	視覚障害者友好協会	身体障害者福祉協会
	手をつなぐ育成会	自立生活センター
	障害福祉ボランティア協会	

参加団体(順不同)

(財)北九州市身体障害者福祉協会

(社福)北九州あゆみの会

(社福)北九州市手をつなぐ育成会

北九州市手をつなぐ育成会(親の会)

(NPO)北九州自立生活センター

(NPO)北九州市聴覚障害者福祉協会

北九州市視覚障害者福祉協会

(NPO)北九州市視覚障害者自立推進協会「あいず」

福岡県脊髄損傷者連合会北九州支部

福岡県視覚障害者友好協会北九州支部

(NPO)北九州市難聴者・中途失聴者協会

障害者福祉推進北九州連絡会議

北九州ハンディキャップ運営委員会

ひまわり号を走らせる北九州実行委員会

ふうせんバレーボール振興委員会

高齢社会をよくする北九州女性の会

(NPO)高齢者快適生活づくり研究会

その他個人

事務局担当: 社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた 6F

TEL 093-882-6770 FAX 093-882-6771 Email:XLZ02133@nifty.ne.jp

過去の実績

北九州市内の JR 九州各駅バリアフリー化検討(現地確認を含む)
メディアドーム アイスト21 小倉北区役所 コムシティ リバーウォーク 到津の森公園
福祉公園 ウェルとばた 戸畑区役所等建設時のバリアフリー検討(現地確認を含む)
新北九州空港バリアフリー設備検討(現地確認を含む)
市内体育施設バリアフリー化検討(現地確認を含む)
道路整備に関する検討(現地確認を含む)
市道路計画課とともにバリアフリーガイドブック作成

平成 22 年度主な活動 現場での視察や点検、視察を受けての協議や検討、説明会など

- [道路] 4月 21日 小倉北区三萩野魚町線自転車道設置工事・博労町線工事
黒崎駅前広場改修工事 参加者 15名(内障害者 8名)
- 7月 12日 小倉駅北口～記念病院間の点検活動
参加者 12名(内障害者 5名)
- 7月 26日 ウェルとばた東エスコートゾーンの位置について確認
参加者 2名(内障害者 2名)
- 8月 3日 とばた駅前福岡銀行・交番の誘導ブロック敷設確認
参加者 4名(内障害者 2名)
- 8月 18日 黒崎・東曲里陣山線誘導ブロックについて
参加者 8名(内障害者 3名)
- 1月 14日 新障害者スポーツセンター周辺道路点検
参加者 32名(内障害者 28名)
- 12月 24日 労災病院前道路誘導ブロック敷設確認
参加者 4名(内障害者 2名)
- 2月 2日 道路維持課(小倉駅点字案内について点字文確認)
参加者 1名(内障害者 1名)
- 2月 13日 西部障害者福祉会館・今池電停間点検活動
参加者 28名(内障害者 10名)
- * 中学生ボランティア体験を兼ねる(永犬丸中学 5名・引野中学 4名教師 1名)
- 2月 28日 ソレイユホール前点字誘導敷設前確認
参加者 5名(内障害者 2名)
- [建物] 5月 21日 黒崎図書館・ホール、バリアフリーの説明(障団連からの呼びかけ)
- 8月 10日 北区役所よりジェットトイレの設置位置について相談
参加者 1名(内障害者 1名)
- 11月 11日 北九州球場の車椅子観覧席についての相談
参加者 3名(内障害者 2名)
- 1月 24日 建築指導課意見交換会(ソレイユホールの改築点検)
参加者 15名(内障害者 5名)
- 2月 17日 JR戸畑駅券売機・エレベーター改修確認
参加者 1名(障害者 1名)

「まちづくりネットワーク」の活動を通して見えてくる「バリアフリーのまちづくり」の課題

1. 条例の限界

北九州市は福岡県福祉のまちづくり条例を遵守
基準をみたしていることと使い勝手との乖離

北九州市福祉環境整備要綱や建設局のガイドブック[道路・公園編]の活用について

* せっかくの施設が利用できない。
市民のマナー
障害者用駐車スペースや点字ブロック

2. 事前協議システムが無いことの弊害

「まちづくりネットワーク」に繋がらないままで完成 その後話し合い 改修工事

情報開示の時期

バリアフリーの考え方 ユニバーサルデザイン
障害者にとって使い勝手の良い施設や設備は、誰にとっても使いやすい。

行政職員の異動 信頼関係の構築が難しい

PFI 方式(民間資金等活用事業) 公共施設の維持管理・運営を民間に委託

3. 横断的なシステム 協働の必要性

行政の縦割りの弊害

ユニバーサルデザイン推進委員会の必要性

計画団体から市民参画で「一緒に」作っていく市政

4. 「まちづくりネットワーク」の限界